

## 拠点

### 拠点4 板橋 (板橋区立赤塚福祉園)

#### 1) 事業概況(運営方針・目標の実施状況)

今年度は、生活介護事業50名(定員60名)、就労継続支援B型事業39名(定員40名)、計89名でスタートした。年度途中の入所施設への移行等により、年度末の在籍者数は、生活介護事業44名、就労継続支援B型事業38名となった。

福祉園全体では、責任者クラスの職員による運営会を組織し、福祉園全体として、一体的な運営に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い板橋区から示された運営方針に基づき、園内における感染防止対策の徹底、飲食を伴う不特定多数の人と接触する場所への外出の制限等、感染防止対策に重点をおいた運営を行った。なお、職員・利用者ともに感染者が確認されたが、板橋区との協議の上、園全体としては、休園することなく運営を継続することができた。しかしながら、感染状況への不安等から利用を自粛する利用者も多く、引き続き、生活介護事業と緊急保護事業においては大幅な利用率の低下につながった。指定管理者独自事業としては、引き続き、延長サービスを実施した他、生活介護事業において園内宿泊(防災宿泊)を実施した。休日開園を予定していた地域総合防災訓練については、職員のみでの参加とした。また、デイセンターきららとワークセンターはばたきの自主生産品統一ブランド「ATB」については、板橋区内外のイベント等への積極的な参加を通じて、ブランド力の向上及び販売活動の強化を図ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により対面による販売が中止となっていることに対応するために、他団体との共同によるオンラインの活用に取り組んだ。なお、ATBラスクについては、近年の日本経済における物価高騰に伴い、必要経費が現状の販売価格を上回ったことなどから一時休止とし、これを機会に、利用者中心の生産活動としての持続可能な取り組みへと見直す方向とした。

事故防止については、マニュアルや事故(再発)予防の検討・周知の手順等の整備が整い、事故事例とヒヤリハット事例からの予防対策の検討を主任-副主任主導で実施する体制がとれていた。今年度、主任者会内に事故防止委員会を設置し、ヒヤリハット案件、事故案件の報告と喫緊で重篤な課題に対して再発防止の検討を行う体制をとったが、セクションでの管理・責任体制が明確になり、各々対応する体制ができ、事故(再発)予防の体制はとれていた。事故予測のための意識や姿勢の育成は、継続して行う必要があると思われる。

権利擁護に関しては、権利擁護-虐待防止対策に関する法人共通の指針、これまで策定してきた人権擁護・身体拘束等の適正化のためのマニュアルやガイドライン等を法人理念に則り対応した。また、全職員を対象とした虐待防止セルフチェックを実施した他、管理職層・指導監督職層で人権擁護虐待防止委員会(身体拘束適正化委員会を兼ねる)を組織し、虐待事案の発見や更なる対策の検討、身体拘束適正化における研修、啓発教育・予防のための研修企画実施などを行う委員会を実働した。特に身体障害を有する方への支援における身体拘束の課題についてはまだ議論が尽くされておらず、ガイドラインの拡充も視野に継続して検討していく必要がある。

人材育成・定着については、キャリアパス体制に則りつつ、個々の育成課題に関わるように工夫した。具体的には育成担当者が効率よく育成に関わるように管理職層、指導監督層が複層的に育成に関わるようにした。結果的に目覚ましい育成効果は上がらなかったが、勤務町営会議や法人理事長主催の中長期計画策定のプロジェクトと合わせ、人材育成上の課題の共有、補佐協力等の他、課題に即した支援体制の編成、人事配置、配置を管理職層と指導監督層で共有できる部分が増えた。引き続き、仕事に対する意識や取り組み方が多様になる中、仕事の仕方全般についての理解や認識の基準を明確にし、習熟度を上げていく研修や育成が課題として大きい。なお、eラーニングによる研修については、活用が不十分であり、受講しやすい環境整備などが必要である。

生活介護事業においては、日々の連絡帳とサービス提供記録を合わせた様式を用いることで、家庭との相互理解を深めることができた。あわせて、コロナ禍ではあったが、区立福祉園準化基準の範囲内において「在園時間の延長」を行い、「延長サービス」とともに家庭支援の一

助となっている。また、介助用リフトやアシストスーツなど介助用備品を活用し、利用者の介助への安心感を高めるとともに、車椅子利用者を対象として従来からの検診車での実施に代えて板橋区医師会病院での胸部レントゲン撮影を実施するなど、職員の心身的な負担の減少や福祉業界全体にわたる人手不足を補う対応を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、食事の2部制の継続など、引き続き、生活プログラムの見直しを余儀なくされていたが、国の感染対策の緩和に合わせて修正。園外への活動も再開し、水族館の出張サービスの利用や以前では取り組むことが少なかった園内での活動にも力を入れるなど工夫し、サービスの提供に努めた。

就労継続支援B型事業においては、作業種が多岐にわたったことで、利用者の選択の幅が増え、利用者の強みを生かした作業展開ができた。一方、生活支援の必要があるケースが散見される為、次年度以降も他機関との連携等を含め、取り組んでいく。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントやキャンペーン等の中止、自粛が相次ぎ、自主生産品の販売や企業からの受注作業依頼は減少しており、工賃の減少傾向は続いている。この状況に対し、販路開拓の一つとして、インスタグラム等のSNSを活用した情報発信にも取り組んだ。

緊急保護事業については、近年、介護者の高齢化に伴う急な入院、障害児を中心とした家庭内の問題等により、長期利用を要する利用が増加しており、民間短期入所事業利用までのつなぎとしての利用を含め、板橋区との調整を要するケースが増えている。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により利用率は半減しているが、緊急を要する利用については、従来通り、板橋区との協議により対応した。また、地域生活支援拠点への整備等を足掛かりに板橋区と協議の上、要綱を見直した。このことから、緊急としての役割がより明確になり、緊急時の受入れ・対応や本人事由の体験利用も新たに設定するなど、地域生活支援拠点における面的機能としての役割も担い、引き続き、各関係機関との連携を図っていく。なお、板橋区による「板橋キャンパス跡地等における障がい者施設の整備」における既存設備を活用した短期入所事業の整備として、板橋区と協議の上、次年度より、新たに地域生活支援拠点の緊急時受入れを主たる目的とする短期入所事業（利用定員2名/日）を開始する予定である。

板橋区との関係については、相談支援事業の円滑な実施に向けて、引き続き福祉事務所、相談支援事業所等との連携を進めた。また、施設整備として、赤塚ホームにおける短期入所事業開設準備に伴い、火災報知器等の整備を行ったほか、2018年度、板橋区により実施された屋上防水工事については漏水が継続しているため、次年度、屋上および外壁防水改修工事が予定され、同時に、非常用自家発電設備改修工事を行うことになった。この他にも老朽化している給排水設備等の要改修事項については、早期の実施に向けて、引き続き対応を協議していく。防災に関しては、区立福祉園として災害発生時の地域の拠点となるべく、福祉避難所としての役割を整理し、また、新型コロナウイルスをはじめとした感染症等への対応として、感染防止対策の徹底を図り、「新型インフルエンザ特措法」に基づくBCPの実効性を図った。その中で、利用者・ご家族への毎月の緊急メール訓練の取組みを、PCR検査受検時の通知としても活用した。また、区立福祉園の民営化の検討については、検討の進捗状況及び今後の予定について、利用者・家族向けに説明会が開催されることになっていたが、新型コロナの感染状況により、延期となった。改めて、次年度以降に板橋区としての方針が示される予定である。

地域との関係においては、地域のオープンスペース「赤ニコ広場」を活用した展示販売活動や「赤塚ジモパ」をはじめとした地域行事への積極的な参加を通じて、より密接な交流を進めてきたが、開設以来参加してきた「地域総合防災訓練」と同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により職員のみでの参加となった。また、篠ケ谷戸町会に加え、地域のNPO法人等の協力を得て開催してきた福祉園祭りについては内容を変更し、職員と利用者のみでの開催とした。地域包括ケアシステム「板橋区版AIP」の支えあい会議下赤塚に会議体の構成員として参画するとともに、板橋区社会福祉法人施設等連絡会の活動についてもオンライン等を活用し、新型コロナウイルス感染拡大の状況下において活動が縮小されている状況ではあったが、積極的に参加した。

## 2) 月間・年間行事等実施状況 別紙のとおり。

### 3) 職員体制

組織図を添付

### 4) 職員研修

#### ①事業所内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
毎月	動作法研修（牛山卓也講師）	園内	きらら職員
毎月	動作法研修（藤岡孝志講師）	園内	きらら職員
4月29日	車椅子・移乗講習	園内	全職員対象
5月16日	嚙下講習	園内	きらら職員
4月25日	バスリフト操作講習①	園内	きらら職員
4月29日	介護リフト講習	園内	きらら職員
6月25日	個人情報保護研修	園内	全職員対象
6月25日	環境教育研修	園内	全職員対象
6月25日	ハラスメント防止研修	園内	全職員対象
8月17日	バスリフト操作講習②	園内	きらら職員
1月12日	バスリフト操作講習③	園内	看護師
3月23日	医療研修（感染症）	園内	25名
10月中	虐待防セルフチェック	園内	全職員対象
11月中	権利擁護・虐待防止研修①アンケート	園内	全職員対象
12月26日	権利擁護・虐待防止研修②講評・講義	園内	全職員対象
1月中	身体拘束適正化研修①	外部WEB	副主任以上
2月中	身体拘束適正化研修②振り返り	園内	副主任以上
通年	接遇研修・権利擁護研修（eラーニング）	園内	全職員対象

#### ②法人内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
6月25日	新人・新任職員フォローアップ研修①	園内	3名
6月25日	新人・新任職員フォローアップ研修②	園内	30名
8月16日	新人・新任職員フォローアップ研修③	園内	3名
2月18日	全体職員研修①	浦安ブライトンホテル	36名
3月18日	新人研修	園内・法人本部	4名
3月18日	全体職員研修②	園内・法人本部	39名
	夏季療育合宿	中止	
	冬季療育合宿	中止	

#### ③外部研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
5月26日	普通救命講習	芝消防署	1名
5月27日	都通研・第1回研修会	オンライン	1名
6月16日	上級救命講習	高島平消防出張所	1名
7月13日	板橋区自立支援協議会権利擁護部会事例勉強会①	板橋区役所	1名
8月5日	TOSCA スキルアップ実技研修	ワイム貸会議室	1名
8月17日	東京ボランティア・市民活動センター・首都直下型地震勉強会	オンライン	1名
8月25日	東社協・「改正個人情報保護法と業務対応のポイント」	オンライン	1名
8月31日	東社協・社会福祉法人会計研修	オンライン	4名

9月6日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修①	オンライン	1名
9月14日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修②	オンライン	1名
9月28日	都通研・第3回研修会	オンライン	1名
11月10日	東京都障害者施設等BCP策定支援事業事務局・BCP策定講座	西新宿大京ビル	1名
11月25日	板橋区・衛生講習会	板橋グリーンホール	2名
12月1日	東社協・WEBコーチング研修	オンライン	1名
12月20日	板橋区自立支援協議会権利擁護部会事例勉強会②	板橋区役所	1名
12月24日	厚生労働省・障害福祉関係指導監督職員(事業者向け)	オンライン	1名
1月中	板橋区・権利擁護虐待防止研修	オンライン	副主任以上
2月26日	日本社会事業大学・藤岡孝志先生最終講義	オンライン	4名

#### 5) 実習生等の受入

形態	受入先	人数
業務研修	人事院公務員研修所	中止
学生実習	東京都市大学	1名
	日本社会事業大学	1名
	星美学園短期大学	10名
	東洋大学	1名
	目白大学	1名
	大東文化大学	1名
	大正大学	1名
	十文字学園女子大学	1名
	こども教育宝仙大学	11名
東京都立赤羽北桜高校	1名	
教員免許介護等体験	共立女子大学	3名
	帝京平成大学	1名
職場体験	志村第四中学校	2名
	赤塚第二中学校	2名
	赤塚第三中学校	6名
法人拠点間研修	おおらか学園	5名
ボランティア	個人	8名
	福祉園祭り(一般)	中止
	福祉園祭り(赤塚第三中学校・吹奏楽部)	中止

#### 6) 施設整備(建物改修、設備・備品等購入等)

- ① 赤塚ホーム消防用設備(火災報知器等)改修工事
- ② 赤塚ホーム漏水対応(スプリンクラー配管改修)工事
- ③ 赤塚ホーム空調室外機修理
- ④ 給排水設備(各配管・蛇口等)改修工事
- ⑤ 厨房内温水配管工事
- ⑥ 赤塚ホーム仕切壁設置工事
- ⑦ 電動フォークリフト購入
- ⑧ 厨房常温配膳車購入
- ⑨ スリッパ殺菌保管庫購入
- ⑩ 空気清浄機購入

7) 健康診断等

① 定期健康診断

11月22日 野田市小張病院出張検診 職員16名受診

検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン

② 生活習慣病予防検診

各自で受診 職員35名受診

検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン  
胃部レントゲン、聴力検査

③ 夜勤対応健診（緊急保護事業のみ）

検査項目：診察、血圧測定、視力、聴力、身体計測、尿検査

※新型コロナウイルス感染状況により今年度は実施せず

④ ストレスチェック

11月に実施 職員53名 同友会に委託

⑤ 東京都集中的検査（抗原定性検査）

2023年3月31日まで、毎週2回（月・木）実施

全職員対象

別紙(事業報告書関係)

## 赤塚福祉園 年間行事等実施状況 (2022年度)

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月	4	入園式			2 2	職員会議	1 4	防災教育	2 1	衛生委員会
5月		全体家族連絡会 (書面開催)			3 0	職員会議			1 9	衛生委員会
6月				活動公開 (中止)	2 5 2 5 2 5	職員会議 新任職員研修 個人情報保護研修他			1 6	衛生委員会
7月	1 6 26, 29	赤塚福祉園祭り (内部開催) センター別家族連絡会			2 9	職員会議			2 1	衛生委員会
8月					2 6	職員会議	30-31	安否確認訓練	1 8	衛生委員会
9月		区スポーツ大会 (中止)			3 0	職員会議	1	安否確認訓練 施設安全確認訓練	1 5	衛生委員会
10月					3 1	職員会議	4 1 2	避難経路確認訓練 避難訓練・消火訓練	2 0	衛生委員会
11月	1 5	センター別家族連絡会(就B)			2 5	職員会議	11-12 25-26	防災宿泊訓練① 防災宿泊訓練②	1 7 2 2	衛生委員会 利用者健康診断
12月					2 6 2 6	職員会議 権利擁護・虐待防止研修	1 1	総合訓練 (篠ヶ谷戸町会)	1 5	衛生委員会
1月	1 8	二十歳の祝い			2 7	職員会議			1 9	衛生委員会
2月				活動公開 (中止)	2 4 1 8	職員会議 全体職員研修			1 6	衛生委員会
3月	1 6	全体家族連絡会			1 8 2 3 3 1	全体職員研修 医療研修 (感染症) 職員会議	1 0 1 2	板橋区シェイクアウト訓練 地域総合防災訓練	2 3	衛生委員会 (書面開催)

組織図(板橋区立赤塚福祉園)

